

日本薬学会九州支部主催 特別講演会

**演題：放射光施設 Swiss Light Source
における構造生物学の現状**

講師：富崎 孝司 博士
Swiss Light Source

日時：10月10日(木) 17:00 - 18:30

**場所：熊本大学薬学部
総合研究棟2F 多目的ホール**

【要旨】

Swiss Light Sourceは、第3世代小型シンクロトロンの先陣として2001年に建設され、先ずたんぱく質結晶用の共用ビームラインが、さらに2004年および2007年には製薬企業の出資によりビームラインが建設された。出資企業から要望により、当初データ測定の効率化を、その後マイルインサービス、施設外からの遠隔操作、結晶化プレート内の結晶を用いた回折実験などへの対応を行った。

近年製薬企業が構造解析の困難な膜たんぱく質などの研究に着手する様になり、放射光施設での膜タンパク質の結晶化施設の整備や、得られた結晶の迅速なデータ測定や自動化への要望が高まった。

上記の状況のもと我々が行ってきた、Pilatusに代表されるpixel array detectorの開発、ソフトウェアの高度化、ビームライン内の結晶化施設建設、製薬企業との協力体制などについて紹介する。

連絡先：熊本大学大学院生命科学研究部・機能分子構造解析学分野

池水 信二 (内線：4647, e-mail: ikemizu@gpo.kumamoto-u.ac.jp)

山縣 ゆり子 (内線：4638, e-mail: yamagata@gpo.kumamoto-u.ac.jp)